

ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとはサンスクリット語で“癒し”を意味します。)

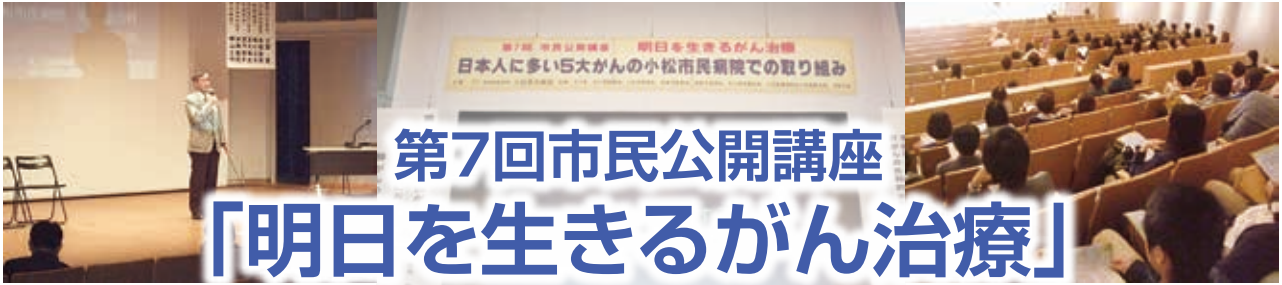
地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

わたしたちは地域の中核病院として皆さんの健康を守るために、質の高い医療を提供し共に歩みます。

基本方針

- ・患者さんの人権と権利の尊重
- ・がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- ・地域の医療機関、保健福祉施設との連携強化
- ・職員の働きやすい職場づくり



第7回市民公開講座 「明日を生きるがん治療」

平成25年10月12日(土)午後1時30分からこまつ芸術劇場うらら小ホールで市民公開講座「明日を生きるがん治療」についてを開催しました。当日は、台風の影響の雨が降り午後にはやっと小雨になりました。そのような状況にもかかわらず、114名の方にご参加いただきありがとうございました。

今年度は、日本人に多い(罹患率・死亡率の多いがん)5つのがんについて、小松市民病院での取り組みを紹介しました。第1部は、「胃がん・大腸がん・肝がんについて」第2部は、「乳がん・肺がんについて」内科・外科医師がそれぞれの担当分野を紹介しました。

胃がん(早期のがん)は、一般的に無症状であり検診や腹部症状などで内視鏡を行った時に偶然発見されることがほとんどであり、内視鏡的治療の適応や治療の様子を動画で紹介しました。外科の胃切除術、大腸切除術においても、腹腔鏡下での適応や手術を行っていることを動画で紹介しました。従来の開腹手術に比べて傷が小さくて済み、術後の傷の痛みも少なく早い回復が見込めることの内容でした。

肝がん(肝細胞がん)については、がんの数、大きさ、他の臓器の転移の有無、肝機能を見て内科的治療か外科的治療かについて検討されます。内科的治療にはラジオ波焼灼療法、経カテーテル冠動脈塞栓療法、抗がん剤動注療法、内服抗がん剤(分子療法標的薬)などがあります。肝細胞がんの原因である肝炎ウイルスの場合は、肝炎の段階で治療しウイルスの活動を鎮静化させておくことが発がん予防になり、放置することなく受診し、定期的な検査を受けることが大切です。肝がんの手術については、腫瘍の大きさや位置、個数など腫瘍側の評価と手術後に残存する肝臓の機能の評価を術前に慎重に行い、手術に臨んでいることが紹介されました。切除法とラジオ波焼灼療法があり、腹腔鏡下での切除術も試みられています。体に一つしかない肝臓を大切に守り育てながら上手に病気を取り除く、そしてまた元の生活に戻ってもらうことを目標に治療を行っている内容でした。

第2部の乳がんについては、術式の変遷について、がんの大きさに関わらずがんを含めて乳房を全部とる、乳房の後ろの大胸筋や小胸筋をもとる、それと同時に腋窩にあるリンパ節も一塊として取る定型的乳房切除術から乳腺の腫瘍を含めて1/4の乳腺のみを切除する乳房温存手術が登場したこと、手術後の成績を比較しても遜色がないことが分かってきたとの内容でした。

肺がんに関しては、男女とも死亡の第1位を占めており、肺がん治療について、肺がんの細胞分類と進行度によって治療法が決まること、肺葉の1つか2つを切除する場合や、片肺のすべてを切除する場合がある事、手術は胸腔鏡下手術を行っていることの紹介がありました。薬物療法や放射線療法についても紹介されました。



第11回 緩和医療懇話会を開催

テーマ「医療従事者に知ってもらいたいがん患者の仕事とお金」
10月17日(木)午後7時 小松市民病院南館4階研修室



新たながん就労支援事業について地域に医療関係者に周知を図るために第11回緩和医療懇話会を開催させていただきました。

第2期がん対策推進基本計画の中でがん患者の就労を含めた社会的問題が新たに取り組むべき施策として明記されました。毎年20歳から64歳までの約23万人ががんに罹患し、がん医療の進歩と共に日本の全がんの5年相対生存率は54%であり、がん患者・経験者の中にも長期生存し、社会で活躍している方も増加していますが、その一方でがん患者・経験者とその家族の中には就労を含めた社会的な問題に直面している方も多くいます。例えば厚生労働省研究班によると、がんに罹患した勤務者の約30%が依願退職し、4%が解雇されたと報告されています。こうしたことから、就労可能ながん患者・経験者さえも、復職、継続就労、新規就労することが困難な場合があると想定されます。その対策として、就労に関する知識や情報を十分持ち合わせている専門

家として社会保険労務士が地域がん診療拠点病院に派遣がされることになりました。

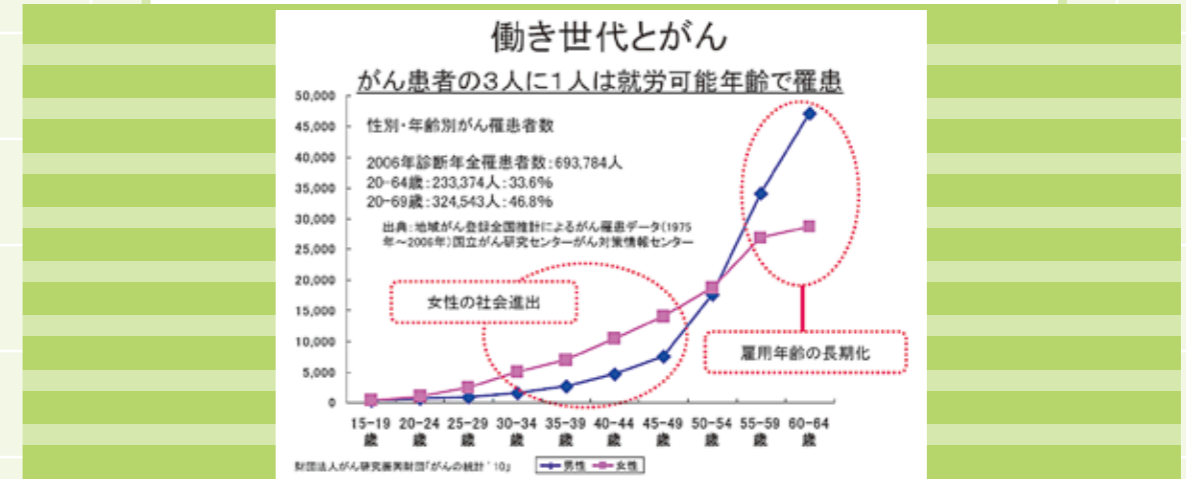
地域がん診療拠点病院である当院に石川県社会保険労務士会から2名の社会保険労務士の方が派遣され、すでに10月から支援事業を開始しています。そこで社会保険労務士がどんな仕事をする方なのか、がん

患者さんの就労相談にどんな対応ができるのかなどについて研修会を行いました。

休職や療養中の生活費、職場復帰、退職、解雇について事例を通して分かりやすく説明していただきました。がん患者就労支援事業については、他の医療機関にかかっている患者さんも相談が受けられます。ご希望がありましたらがん相談支援センターまでご連絡ください。



がん患者の就労支援事業



- 退職を勧められている。
- 職場に迷惑をかけたくない。
- 仕事はやめた方がいいのか？
- どのくらい休職できるのか？
- 退職したら健康保険はどうなる？
- 年金はどうなるのか？
- 傷病手当金について知りたい。
- 失業手当はもらえるのか？

仕事に関する様々な不安や問題について、雇用問題や社会保険・年金の専門家に相談してみませんか。面談または電話で相談ができます。相談は無料です。



がん患者就労支援相談

- 毎週木曜日 13:00～17:00(事前予約制)
- 社会保険労務士が無料で相談に乗ります。
- 予約受付: 小松市民病院 がん相談支援センター
TEL: 0761-22-7111(代)

* 本事業は国が策定したがん対策推進基本計画に基づき国庫補助により実施しています。

ストーマ 患者のつどいを 開催しました。 (人工肛門)



南加賀地区で初めてストーマの患者会を9月20日午後1時に当院で開催しました。

発足のきっかけは、当院に通院している複数の患者さんから南加賀在住のストーマ患者さんが知りあえる機会がなく、孤独感を感じており、このような患者さんが集える場を提供してほしいとの要望から始まりました。

公益社団法人日本オストミー協会金沢支部「虹の会」のご協力とご尽力を得て、開催することができました。

当日は天候も良く、南加賀地区の10名の虹の会の方や当院入院中の方、越屋メディカル、中田医療機の方々の参加を頂きました。当院からは病棟や外来を担当している看護師やソーシャルワーカー計10名が参加しました。北村看護部長からは、ご要望のあったこの会をようやく持つことができたことの喜びと感謝の気持ちを述べさせていただきました。会に参加された方の中には、ストーマを持って日の浅い方から30年経過された方もいて、ストーマを造った当時のことや現在の生活について話されました。みなさんがそれぞれ苦労されながらも元気でいらっしやることが伝わってきました。また今後も南加賀地区でのこの会が開催されることのご希望もいただきました。

この会は、『スマートの会』と命名されました。次回は3月に開催を予定しています。その折は、南加賀地区の広報にご案内させていただきます。

問い合わせ先：小松市民病院 地域医療連携室 がん相談支援センターまで



がん情報コーナーを設置

外来待合にがんに関する小冊子やリーフレットを集めた情報コーナーを設けました。ここにある情報は、いつでも自由にお持ち帰りください。



第49回 全国糖尿病週間 小松能美地区のつどい

日時 2013年11月16日(土) 午後1時～3時半

会場 小松市民病院 南館4階研修室

対象 どなたでも

健診で尿糖や血糖の異常を指摘された方、患者さんで中断している方、
患者さん・家族や身内に患者さんがおられる方など

参加費 無料

ミニ
講演

「えー！私って糖尿病なの？
予備軍じゃないの？
もう美味しいもの
食べれないの？」

講師 小松市民病院 吉本 幸子



- 血糖 ● 血圧 ● 体脂肪測定 ● 足のケア ● 医療機器展示
- 医師、栄養士、薬剤師による医療相談
- HbA1c(血糖の平均値) ● 骨密度 ● 頸動脈エコー
- ABI&PWV(血管年齢)の検査を行います。
ただし人数は限らせていただきますのでご了承ください。

秋の土曜日の午後、健康について一緒に考えてみませんか。
お誘い合わせの上、ご来場ください。お待ちしております。

主催 日本糖尿病協会石川県支部

お問い合わせ 小松市民病院地域医療連携室 ☎0761-22-7567

topics
トピックス

防災訓練を実施しました。

9月28日(土)午前9時00分から全職員対象に連絡網による病院集合から訓練が始まりました。
災害拠点病院として、近隣地域での地震発生を想定した救急医療・災害対策について、その基本となるトリアージや応急救護、情報伝達の一連の訓練を総合的に実施しました。防災訓練は、有事に備えるために年1回実施しています。今回は昨年11月に設立した南加賀救急医療センターで、救急車で搬送患者を設定して、トリアージ訓練を行いました。患者役は、こまつ看護学校の学生さんをお願いしました。ご協力ありがとうございました。訓練後の課題は多いですが、職員一人一人の役割が自覚できたのではないのでしょうか。



災害本部会議



南加賀救急医療センター救急搬送



南加賀救急医療センター
トリアージ状況



病院正面トリアージの状況



救急医療センター内

緩和ケア病棟故人をしのぶ会を行いました

今回で3回目になります。川浦院長の挨拶で始まりました。

院長の言葉

「今日ここにお集まりのみなさんにおかれましては、大切な人を亡くされた悲しみと、これから新しい生活に向かって歩き出そうという、いろいろな思いが入り混じった心境かと拝察いたします。

緩和ケア病棟のスタッフは患者さんが望まれるケアを一心に行ってまいりました。



患者さんだけではなく、ご家族の方々のお気持ちをどうやって和らげることができるかを常に考えてまいりました。

ご遺族となられた皆さんと共に故人を偲んで共に涙し、生前の思い出を共に語ろう。そうすることで、ご遺族の心の負担を少しでも軽くしようと考え、本日お集まりいただいた次第です。故人となられた人はみな皆さんが生前の患者さんを暖かく見守り、支えとなってこられたことに深く感謝して旅たれたと確信します。さあ共に故人を偲んで語り合おうではありませんか。」

短い時間でしたが、だんだん盛り上がり進行係の声も届かないような会になりました。緩和ケア病棟スタッフとしてはご家族の元気な様子が伺えて大変うれしく思いました。



編・集・後・記

ゲリラ豪雨、梯川の水位が気になり、予定していたことが取りやめになったりと大変な季節でしたがこの頃やっと台風も起こらなくなったようです。行楽地は紅葉が楽しめる季節になってきました。11月の連休を楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか。インフルエンザの予防接種が始まっています。風邪をひかないように手洗い、うがいをし、風邪対策をしましょう。

 国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp